

D

歯車ポンプ

GEAR PUMPS

取扱い

●作動油

- 粘度グレードISO VG32～68相当の一般作動油（R&O）または耐摩耗性作動油を使用してください。
- 粘度範囲15～400mm²/s {cSt}、油温範囲0～60℃の両条件を満たす範囲で使用してください。
- 油圧油の汚染は、ポンプの故障および寿命低下の原因になりますので、作動油の汚染管理には十分注意し、汚染度はNAS 9級以内を保つようにしてください。

●フィルタ

- 吸込み側には150メッシュのサクションフィルタを使用してください。
- 吐出し側のタンクへの戻りラインには、25μm以下のラインフィルタを使用してください。

●配管

- 吸込み接続口は、気密性を保ってください。空気混入は、異常騒音発生の原因となります。
- 鋼管で配管する場合は、配管により、ポンプが強制的に偏心しないようにしてください。配管による強制的な偏心は、異常騒音発生の原因となります。

●始動時

- 摺動面の潤滑をよくするために、運転前にポンプ内部に注油してください。
- 全ての油圧回路、電気回路等が運転準備完了していることを確認し、負荷側の油圧回路は、無負荷状態またはアンロード回路にして始動してください。
- ポンプの回転方向が、回転方向を示す矢印と同じであることを確認してください。
- 始動の時は、急激に全回転速度を与えずに、初めは電動機の入力スイッチを数回ON-OFFさせ、配管中の空気を抜いてから連続運転してください。空気が抜けるまで音がでることがありますが、異常ではありません。
- 油温が7℃以下の時は、圧力2MPa {20kgf/cm²} 以下で慣らし運転を行い、温度が上昇してから圧力を上げてください。
- ポンプ本体の温度と油温との差が20℃以上の場合は、ポンプ本体を温め、温度差を20℃以下にしてから始動してください。

●吸込み圧力

- 吸込み圧力は-13.3kPa～15kPa {-100mmHg～0.5kgf/cm²} になるようにしてください。
- 始動時の短時間の間は-40.0kPa {-300mmHg} までは許容できますが、昇圧はさせないでください。
- 吸込み抵抗が高くなると、キャビテーションを発生し、部品の破損、騒音、振動の原因となりポンプ寿命が低下します。

●定格圧力

- 連続して使用できる最高圧力です。

●最高使用圧力

- 使用可能な最高圧力です。